

## 28 大切な人たち

場面：ラジオ番組

状況：男性パーソナリティが、リスナーからの手紙を読み上げる。

登場人物：A（男性、ラジオパーソナリティ）

A：東京都にお住まいのラジオネーム「春はあげもの」さんからのお手紙です。今回のテーマ「私の大切な人たち」について、送っていただきました。

えー、

「大学に入学してすぐ、コンビニのアルバイトを始めました。私はこれが人生初めてのバイトで、とても大変でした。」

あー、コンビニの店員さんって、ほんと忙しいですねえ。

「他のスタッフの人と仲良くなる余裕もなくて、バイトになじめない感じで、つらかったです。」

初めてのバイトってそうですねー。

「でもしばらくして、この店にはちょっと変わった文化があるって気づいたんです。」

ほうほう。

「休憩室にホワイトボードがあって、本来は「何日に何々発注」とかを書くものなんですが、そこに皆好きなことを書いてるんです。「つかれた～」とか「さっき間違えて、パンにお箸つけちゃった」とか。」

あっはははは。

「たまに「夜ごはんどうしようかな」「すぐそのイタリアンおすすめ」「そうなんだ！今度行ってみる！」とか、会話になってたりして。」

え～面白い。

「あるとき、バイト中に急に電話が来て。」

ほう。

「母が急に入院して、実家に帰らないといけなくなりました。」

入院！あら、大変。

「店長に事情を説明して、バイトは早退。その時に「母が倒れて、しばらくバイト入れません」ってホワイトボードに書いて帰りました。幸い母は大事にはいたりませんでした。」

あーよかった。

「しばらくは看病が必要で、私も手伝いでへとへと。でもふと、あのバイト先のホワイトボード、皆読んでくれたかな、ってすごく気になりました。」

「一か月後、母が元気になってバイト復帰。あのホワイトボードを見ると…私のメッセージの横に「お母さんはやく良くなりますように！」「バイトのことは心配しないでね！」「戻ってくるの待ってるよ～」って、いっぱい返事が来てたんです。」

うわー泣ける。

「馴染めてないと思ってたのに、こんなに私のことを考えてくれてたなんて。もうバイトは辞めちゃいましたが、あの時のメンバーとは今も仲良くして、私の大切な人たちです」

いや～～～いい話。ぼくちょっと、ほんとに泣いちゃうかも。今度からコンビニ行ったら、レジの奥のホワイトボード、ちょっと気になっちゃうかもなあ。春はあげものさん、素敵なお話をありがとうございました！！